

そなれ松のように

令和5年度
銚子市立高神小学校だより
令和5年5月10日
VOL. 5

ご家庭と手を携^{たずさ}えて

P T A 総会が少し昔のことのようと思われる今日この頃ですが、その時に私はひとつ保護者の皆様をお願いをしました。

総会に出席なさっていなかった方もいらっしゃると思いますので、簡単に振り返ります。

ここで、ひとつ保護者の皆様にお願ひがあります。子ども達を成長させるためにはご家庭でのご協力が必要です。特に、子ども達に確かな学力をつけるためには、ご家庭での協力なしでは無理でございます。車に例えるなら、前輪と後輪を思い浮かべていただければよいのですが、学校が前輪ならご家庭は後輪です。様々な手立てを講じて学校は学力向上を図っていきますので、一緒に進めるよう支援してください。といっても、そんなに難しいことを頼むわけではありません。ご家庭で「お母さんは、お父さんは、君たちのことを見ているよ」といったメッセージが伝わるようにしていただければよいのです。連絡帳を見たときも、「学校ではこんなことをするんだね」とか「これ大切みたいだから忘れないようにしようね」といった言葉をかけてくれるだけでいいのです。宿題も、「宿題やったの?」と聞くより、「今日はどんな宿題だったの?」「今日難しかったところはなかった?」と聞いてくれる方が子ども達は嬉しいと思います。(さらに少しでもいいから一緒に勉強などしてくれたらベストですが…)「ママ達は、いつも君たちのことを考えているんだよ」ということが伝われば、それだけで子ども達は自分で何とかするようになります。成長します。ぜひ“子ども達に関わっているよアピール”を実行していただければと思います。

研究報告や書物などを読んでいますと、学力が高いお子さんは、「読書が好き」「リビングで学習をする」などの特徴があるようです。読書が好きな子が学力が高いのはうなずけますが、リビングで学習をすることのメリットは何でしょうか?

それはやはり、家族の誰かが自分を見ているということだと思います。お子さんが学習しているときに、お互いに声をかけられる距離を取っておくことは大事なこともかもしれませんね。それが少しの時間であったとしても……。

これからも、学校とご家庭で協力しながら、子ども達を成長させていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

